

# システム情報学部

## 【どんな学部か】

神戸大学システム情報学部では、現代の情報社会での多様で複雑な社会課題解決に向けて、AI・データサイエンス・スーパーコンピュータ・システム科学といった System Informatics(システム情報学)の専門的な知識や技術を深く学び、それらを俯瞰的かつ柔軟に組み合わせて活用できる力を養います。

入学後すぐにシステム情報学の専門科目に触れることができ、早期から専門的な学びをスタートできる点も本学部の魅力です。また、大学院生とともに実際の研究プロジェクトに取り組むことで、最先端の知に触れながら実践的なスキルや思考力を身につけ、社会に新たな価値を創造できる人材の育成を目指します。

## 【学部の雰囲気】(男女比8:2)

1年生から専門科目の授業が多いため学部の友達ができやすく、全体として和気あいあいとした雰囲気です。新設学部ということもあり教授陣のサポートも手厚く安心して学ぶことができます。また女子率があるため男女比が極端になることもなく、色々な友達を作ることができます。

## 【時間割の例】※太字は専門科目

専門科目	外国語科目	教養科目・その他
------	-------	----------

### ○学部(1年生)

	月	火	水	木	金
1		基礎解析			数理情報英語 A
2				システム情報学入門	演習 I
3	アルゴリズム・データ構造	線形代数	物理基礎	離散数学	代数・幾何演習 I
4				確率・統計・情報	コンピュータシステム I

## 【授業紹介】

### ・基礎解析

高等学校で習った1変数関数の微分積分を多変数関数へ拡張し、それを踏まえ、曲線や曲面について学び、ベクトル解析に関する諸定理を理解するという構成をとる授業です。

### ・コンピュータシステムI

コンピュータを構成する要素技術とアーキテクチャの基礎に関する授業が展開され、コンピュータのハードウェア面の基礎を習得することを目標としています。

### ・システム情報学入門

システム情報学の概要を示し、関連する最先端技術や産業を紹介するこの授業は、システム情報学を学ぶ人材として情報倫理、知的財産権、情報セキュリティーの基礎知識を習得し、情報社会における個人の役割を理解することを目標としています。

### ・数理情報英語 A

この授業は線形代数、微分積分などの数学の分野を通して専門的な英語を学ぶことを目標としているため、授業内容は数学でありながら、授業における使用言語はすべて英語となっています。議論やプレゼンテーションなどによって英語のコミュニケーション能力が高まることが期待されます。

## 【取得可能な資格】

- ・中学校教諭一種(数学)
- ・高等学校教諭一種(数学、情報)

## 【併願校】

慶應義塾大学(一般)、明治大学(一般)、東京理科大学(共)

\*一般=一般入試、共=共通テスト利用入試

## 【アピールポイント】

- ・専門科目から先に学ぶのでその学部らしいことがすぐに学べる(1年生・Kさん)
- ・先生方のサポートが手厚い(1年生・Hさん)
- ・女子枠があるので学部で同性の友達が作れる(1年生・Nさん)